

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	吉川福祉専門学校
設置者名	学校法人ワタナベ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	介護福祉科	夜・通信	1,670 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html">https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	吉川福祉専門学校
設置者名	学校法人ワタナベ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html">https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	一般社団法人 事務局長	R2.4.1 ～ R5.3.31	専門的な実務経験から、法人のコンプライアンス強化に多様な意見を求める。
非常勤	私立大学 教授	R2.4.1 ～ R5.3.31	法の遵守を基本に経営機能の強化に多様な意見を求める。
非常勤	私立大学 教授	R2.4.1 ～ R5.3.31	専門的な実務経験から、幼児教育の強化に多様な意見を求める。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	吉川福祉専門学校
設置者名	学校法人ワタナベ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画書(シラバス)については、次年度の授業担当者が決定する2月初旬に作成依頼を行い、新年度の4月1日を目途に完成させオリエンテーション時に学生への周知と公表を行う。</p> <p>なお、一般への対応は、オリエンテーションと同時期に公表を行う。</p> <p>また、介護福祉士養成施設の指定基準に定める教育内容等を踏まえて、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を授業科目毎に授業科目担当者が作成したうえで、教員会(兼任授業科目担当者を含む)を経て決定する。</p> <p>なお、本校が設置する「教育課程編成委員会」において授業計画書の精査と委員からの意見を聴取することにより、授業計画書作成に反映すると共に学則変更の申請及び届出に寄与している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html">http://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>教科目概要(シラバス)に記載された評価内容・方法のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、履修認定をする。</p> <p>評価基準は、S・A・B・C・Dの5段階に分け、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDとし、C以上を合格とする。</p> <p>認定に必要な出席時間数は、学則に定める授業科目毎に授業時間数の3分の2以上とする。</p> <p>ただし、介護実習については、授業時間数の5分の4以上とする。</p> <p>なお、学生には、あらかじめ成績評価の基準を学生ハンドブックによって示している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校ではG P A制度を導入していないが、次のように算出方法を定め実施している。</li> <li>・履修科目の評価点(100点満点)に当該科目の授業時間数を掛けて合計した数値を、履修科目の総授業時間数で割り平均値を算出。</li> </ul> <p>■ G P A等の客観的な指標の算出方法</p> $\frac{\text{(履修科目の評価点} \times \text{その科目の授業時間数)} \text{の合計}}{\text{履修科目の総授業時間数}}$ <ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的な指標の数値により学年別に成績分布状況を把握し、授業の方法及び内容に役立てる。</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="http://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html">http://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディプロマポリシー</li> </ul> <p>次の学生像を介護福祉士育成の方針とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高度な専門知識、実践の根本となる理論を身につけている。</li> <li>(2) 対象者本位のより良い生活支援(自立支援)を対象者の状況をしつかりと見極めて、適切に提供できる。</li> <li>(3) 人間を深く理解した上で、対象者の尊厳を重んじることができる。</li> </ol> <p>本校学則に定める第13条別表1の教育課程を全て履修し、当該科目の試験(論文等を含む)の成績、平素の学習状況及び出席状況を総合評価して合格した者に対し、学則第18条第3項に従い教員会の議を経て卒業(課程修了)の認定を行っている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html">https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	吉川福祉専門学校
設置者名	学校法人ワタナベ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html">https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html">https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html</a>
財産目録	<a href="https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html">https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html</a>
事業報告書	<a href="https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html">https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html">https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	介護福祉科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1940 単位時間	560 単位時間	930 単位時間	450 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1940 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		53人	10人	4人	10人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
<p>授業計画書（シラバス）については、次年度の授業担当者が決定する2月初旬に作成依頼を行い、新年度の4月1日を目途に完成させオリエンテーション時に学生への周知と公表を行う。</p> <p>なお、一般への対応は、オリエンテーションと同時期に公表を行う。</p> <p>また、介護福祉士養成施設の指定基準に定める教育内容等を踏まえて、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を授業科目毎に授業科目担当者が作成したうえで、教員会（兼任授業科目担当者を含む）を経て決定する。</p> <p>なお、本校が設置する「教育課程編成委員会」において授業計画書の精</p>

査と委員からの意見を聴取することにより、授業計画書作成に反映すると共に学則変更の申請及び届出に寄与している。

#### 成績評価の基準・方法

(概要)

教科目概要（シラバス）に記載された評価内容・方法のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、履修認定をする。

評価基準は、S・A・B・C・Dの5段階に分け、90点以上をS、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDとし、C以上を合格とする。

認定に必要な出席時間数は、学則に定める授業科目毎に授業時間数の3分の2以上とする。

ただし、介護実習については、授業時間数の5分の4以上とする。

なお、学生には、あらかじめ成績評価の基準を学生ハンドブックによって示している。

#### 卒業・進級の認定基準

(概要)

・ディプロマポリシー

次の学生像を介護福祉士育成の方針とする。

- (1) 高度な専門知識、実践の根本となる理論を身につけている。
- (2) 対象者本位のより良い生活支援（自立支援）を対象者の状況をしっかりと見極めて、適切に提供できる。
- (3) 人間を深く理解した上で、対象者の尊厳を重んじることができる。

本校学則に定める第13条別表1の教育課程を全て履修し、当該科目の試験（論文等を含む）の成績、平素の学習状況及び出席状況を総合評価して合格した者に対し、学則第18条第3項に従い教員会の議を経て卒業（課程修了）の認定を行っている。

#### 学修支援等

(概要)

正課外学修支援として国家試験対策講座を年間15回開講している。

また、留学生に対して週1時限（90分）の日本語教育を実施している。

#### 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
------	------	-------------------	-----

23人 (100%)	0人 (0%)	23人 (100%)	0人 (0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>介護老人福祉施設、介護老人保健施設、居宅サービス関連事業所、医療機関等</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>全学年を対象に合同就職説明会を実施している。また、2年生には個別面談等を通じ、早い時期から就職活動を促している。10月以降、未内定者に対して、担任および事務担当者による3者面談を実施している。</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>アクティビティ・ワーカー資格3名取得(令和1年度実績)</p>			
<p>(備考)(任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	4人	7.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更及び体調不良による。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生支援の一つとして、担任による個別面談を実施している。また、欠席の多い学生やその他問題を抱える学生の情報を全教職員で共有し、保護者等への連絡も行っている。中途退学者防止のため、当該学生の早期発見・早期指導、学習面や心理面、経済面での支援にも努めている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉科	150,000 円	600,000 円	320,000 円	【その他の費目】 施設設備費 210,000 円 実習費 110,000 円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html">https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針 本校では、学校運営に必要とされる各種委員会の位置付けについて学則に規定するとともに、学校関係者評価委員会規程を規定している。本校と密接に関係する委員で構成される委員会において、本校が実施する自己評価項目及び評価結果に対する評価並びに施設見学及び授業参観を参考とした提言・助言により、自己評価結果の客観性・透明性を高め、本校に対する理解促進や連携協力の強化を図る。委員会で審議された指摘事項等は、教育活動その他の学校運営の改善に活かすものとする。</li> <li>・主な評価項目 ①教育理念・目的・育成人材像 ②学校運営 ③教育活動 ④学習成果⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生の募集と受入れ ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献</li> <li>・評価委員会の構成 委員の人数 5名 選出区分 (1) 専門分野における業界関係者 (2) 卒業生 (3) 保護者または地域住民 (4) 中学校及び高等学校の校長または進路指導担当者 (5) その他校長が必要と認める者</li> <li>・評価結果の活用方法 学校関係者評価結果を踏まえて、学校関係者委員と本校教職員とが課題を共有しHPに公表する。さらに、教職員会議で検討、協議を行い、校長が決裁し改善できるものから随時実施改善する。年度末に次年度へ課題の改善</li> </ul>



点をまとめ、年度当初時に校長より学校の目標や日々の指導について、学校運営に活用し改善を図り随時推進している。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
社会福祉法人陽光会 グループホーム・小規模多機能型居宅介護サ ンパティオ 施設長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	業界関係 者
社会福祉法人平成会 特別養護老人ホーム吉川平成園 介護課長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	業界関係 者
社会福祉法人名栗園 ケアセンター岩槻名栗園 副施設長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	業界関係 者
介護福祉科卒業生 社会福祉法人貴親会 憩いの里介護職員	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	卒業生
埼玉県立三郷高等学校 校長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	高等学校 校長

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html>

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.yoshikawa-fukushi.ac.jp/about/data.html>